

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会		主 査 名：後藤 治 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：大橋 竜太 主 査 名：
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>歴史的建造物や歴史的町並に関する災害対策（事前・事後）や、災害が歴史的建造物・町並に及ぼす影響や被害について情報収集を行い共有化し、その研究を進め、今後の対応や対策に役立てることを目的とする。</p> <p>初年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／九州地方・中国地方の水害、首里城の火災他</p> <p>2 年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／海外における歴史的建造物・町並の災害による被害とその対策他</p> <p>3 年度：関係各機関の対応についての調査・研究／文化財防災センターの設置、国宝・重要文化財等の防火対策ガイドラインと関連する指針類</p> <p>4 年度：研究期間内に発生した被害とその対応の調査・研究</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：後藤治（工学院大学） 幹事：大橋竜太（東京家政学院大学） 委員：鯉坂徹（鹿児島大学）、足立裕司（神戸大学）、上野勝久（東京藝大）、梅津章子（文化庁）、大窪健之（立命館大学）、永井康雄（山形大学）、花里利一（三重大学）、長谷見雄二（早稲田大学）、藤田香織（東京大学）、村上裕道（京都橋大学）、安井昇（早稲田大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2023 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2022 年、2023 年に発生した地震や洪水による被害からの復旧の状況に関する情報を共有するシンポジウムを計画していたが、2024 年 1 月 1 日に能登半島地震が発生したため、2024 年 1 月 25 日に公開研究会「文化財建造物の災害復旧の現状と課題」を開催し、その対策に役立てることとした。参加者は 170 名だった。現在、文化庁の文化財ドクター派遣事業の実施のための復旧支援委員会の活動に参加している。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活発な活動は実施できなかったが、上記の講演は、情報共有や提供の場として役立っており、今後の復旧支援に役立てられるものと考えている。 2. 近年大規模災害が度々発生しており、本委員会の役割の重要性が増している。
委員会活動の問題点・課題	1. 災害が突発的に発生するので、それに応じた迅速的な活動が必要。 2. 他の学会委員会（例えば、木構造、防火等）との連携